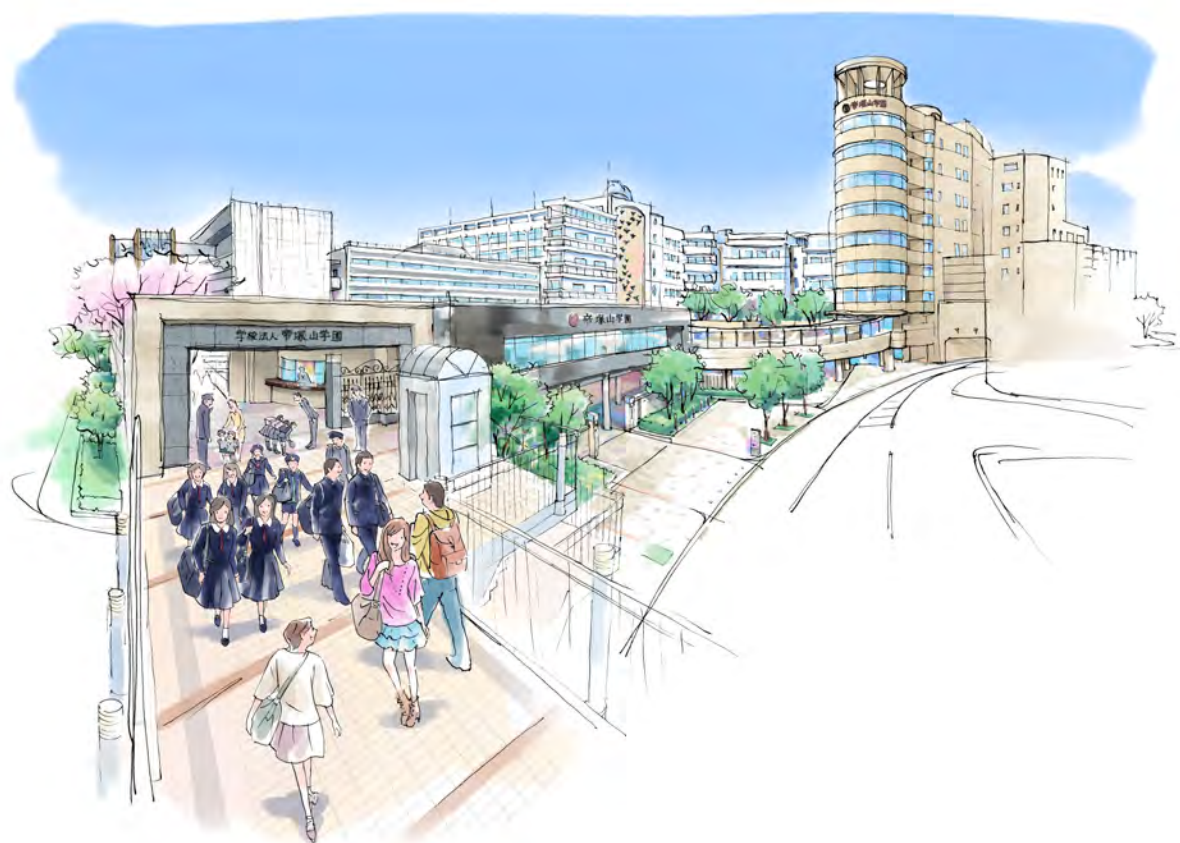


平成26年度

学校評価報告書

帝塚山幼稚園



学校法人帝塚山学園

平成 26 年度学校評価について

帝塚山幼稚園は、平成 26 年度の教育活動、及びその他の学校運営の状況について、学校評価を実施しました。

学校評価は、保護者等を対象とした各アンケート結果、並びに育友会等との懇談会で寄せられた御意見等を活用の上実施しました。

このたびの結果を踏まえ、更なる教育水準の向上を目指して、教育活動及び学校運営の改善工夫に組織的をあげて継続的に取り組んでいく所存です。

帝塚山幼稚園

園長 塚本 真紀

1. 学校評価総括

建学の理念	「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」	
教育目標	幼児の発達段階に応じて一人ひとりの個性を生かし、気品と礼節のある子ども、強健な体と豊かな感性を持つ子ども、自立的かつ自律的精神を持つ子ども、表情の豊かな子どもを育成する。	
これまでの成果と課題	自然を軸とした独自の保育内容は、保護者ならびに幼児教育界で高く評価されている。また、園児の個性を尊重した表現活動を様々な場で展開し、感性豊かな幼児の育成に努めた。 今後も質の高い教育活動と保護者のニーズにこたえる教育環境の実現に向けて取り組んでいきたい。	
本年度の重点目標	具体的目標	総合評価・特記事項
保育内容の充実	公德心の涵養	1月と3月に開催した公開研究会には150名を超える参観者があり、本園の自然を軸にしたカリキュラムによる園児の表現活動に対し、高い評価を得た。 通常預かり保育の午後6時までの実施と、長期休業中の預かり保育の年間20日の実施は、保護者のニーズに応える取り組みとして高い支持を得た。 園児募集に関しては、3年保育で昨年度より4名増となったが、募集人員を確保すべく、更なる広報活動の検討と充実が必要である。
	園児の表現力向上のための保育内容の点検・改善	
	身体能力向上のための環境整備	
教員の意識改革・行動改革推進	自己点検シートを通して自己の教育活動を振り返る	
園児募集活動の強化	帝塚山幼稚園教育の広報活動の充実	

2. 教育活動に関する評価

具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
教育目標の設定	建学の精神と幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい教育目標を設定する	A	A
教育目標の周知	園の教育目標を教職員、保護者に恒常的に周知を図る	A	A
指導計画の作成	教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成する	A	A
	あそびを通して工夫したり、友だちと協力できる力を向上する	A	
	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう	A	
研修	全職員が年に1回以上園内公開保育を行なう	A	A
	外部研修に積極的に参加し、その内容・頻度及び結果報告をする	A	
	参加した外部研修の成果を内部研修などで発表し、教職員の共通理解を図る	A	

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

3. 学校経営に関する評価

具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
		結	果
組織運営	園長の指導のもと、教育目標の周知を図る	A	A
	校務分掌の適切な運営とその責任体制を整備する	A	
安全管理	安全点検マニュアルの周知徹底を図る	A	A
	日常の安全点検・定期的安全点検を充実させる	B	
保健管理	地域保健・医療機関との連携を密にする	B	A
	日常の健康観察をきめ細かく行う	A	
	園児の怪我等に速やかに対応する	A	
情報管理	個人情報の適切な管理に努める	A	A
	公文書の管理・保管を徹底する	A	
保護者との連携	育友会活動に参加し、連携を緊密にする	A	A
	保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	A	
情報提供	園だより等で幼稚園の情報を発信していく	A	A
	「クラスだより」は毎月発信して情報を共有する	A	
	「ホームページ」での情報の発信と新しい情報の更新に努力する	A	
子育て支援	子育て支援講座を定期的実施する	A	A
預かり保育	保護者の要望に応じて預かり保育を行う	A	A
園児募集・広報	子どもや保護者に幼稚園に対する親密感を感じさせている	A	A
	子どもや保護者に効果的な案内を行っている	A	A
	外部から依頼のあった入園説明会に参加している	A	A
	ホームページの更新や園案内の送付を継続的に行っている	A	A

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】